

この子らと

第9号平成31年1月

まことの保育



年末・年始も工事続行

鹿児島竜谷学園和光幼稚園



園長 川口公男

新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。「子どもたちを真ん中」により良い教育をめざして、職員一同、精進努力申し上げます。

「元朝や経の声する大寺に
かけろうもゆる軒下の土」
(与謝野晶子)



「お正月の子どもになって見たきかな」(小林一茶)
サッカーの中田英寿の中学時代の詩です。

力強く歩きたいと思った。くたびれて疲れ果てて自分に負けそうになりながら幾たびも幾たびも思い直して、もっと力強く進みたいと願った。

そして、新しい年が来ると、その新しい年が笑いかけてくれた。

新鮮な風と光がいつでも向こうから声をかけてくれた。

君、目標は君が選んだのだよ。

自分で選んだ一つの大事な目標が向こうから私を救ってくれるのだ

12月31日の大晦日から1月1日に一瞬にして暦が変わります。それと同時に一瞬にして新たな気持ちに変わります。とても不思議です、

一年の計は、元旦にあり、一日の計は、朝にあり、職員も、子どもたちも、日々、希望をもって登園できる2019年でありたいと思います。

七草祝い



数え年(生まれた年が一歳)で7歳になった年の正月7日に、7軒のお宅から七草粥をいただいてお祝いをしてこれからの健康と成長を念じる行事です。地域によっては小学校へ上がる年の正月にするところもあるようです。

特に、数え年3歳といえますと満年齢では2歳か1歳ですから満3歳で行うこともあるようです。

最近では、数え年に対してなじみが薄れて、基本は数え年ですが、満年齢でお祝いする家庭も増えているようです。

ほめてあげれば子どもは明るい子どもに育つ。愛してあげれば、子どもは人を愛することを学ぶ。認めてあげれば、子どもは自分が好きになる。見つめてあげれば、子どもはがんばり屋になる。和気あいあいとした家庭で育てば子どもはこの世の中はいいところだと思えるようになる。

ドロシー・ロー・ノルト

大型遊具完成



本当におまたせいたしました。本日8日から開放です。

--	--